行政視察報告書　　広報広聴委員会　　　2018年8月7日(水)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　11番　石井通春

|  |  |
| --- | --- |
| 視察先 | 千葉県成田市 |
| 研修テーマ（調査項目） | 議会報告会、高校生との意見交換会 |
| 1. 調査内容をどう評価するか

・10名の広報委員会のうち、半々の数構成で広報部、広聴部と別れて運営・議会基本条例に、議会報告会開催を義務化。ただし参加者は年々減少傾向・平成30年度からテーマを設けた（午前：子育て。午後：防災）が、減少傾向変わらず・高校生意見交換会は各校から生徒会メンバーを軸に5名程度参加。市内5校・3月の春休みの実施が都合がつきやすい・参加要請は各委員が分散して各学校と交渉する（議員は3班に分かれる。全員参加）・事前に生徒にアンケートを実施して、話題が途切れない工夫をしているほかは通告制度などはなし・政治の話はあまり出ない。議員が身近に感じたなど日常生活に関する事などが主との事1. 本市に反映できると思われる点

・委員会を二つに分けて合理化が図れるかどうか疑問に思った。広報部における市議会だよりの編集作業も3回開いており、これなら本市とほとんど変わりがない。・議会だよりの編集に印刷業者が委員会に参加している。ただ、どれだけ反映できているかと言えば疑問であった。・高校生との意見交換会は、取り入れてみる必要がある。本市で実施できない理由は見当たらない。全体は無理であれば委員会活動からスタートすればよい。成田では委員以外からも参加したい議員が多くいたそうである。・意見交換会の方が報告会よりも活気があるとの説明であった。実施する事により議員も学ぶことが多くある。1. その他（感想・意見）
 |